

生活者 通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.327
2018.12.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL http://www.seikatsusha.me
発行責任者 西崎光子
定価 年間1000円・部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)**
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に**
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

都議会ネット

- 第4回定例会の開催 12月4日～19日、代表質問11日、一般質問12日。
- 12月20日、各党2019年度予算要望提出。

地域ネット

八王子ネット

沖縄から考える自治ってなんだ?
12月9日(日)14:00～ クリエイトホール5階展示室(八王子駅) 講師:白藤博行(専修大学教授) 500円 042-623-8802

世田谷ネット

せたがや政策発表集会「介護をひとりにしない! 介護相談のプロに聞く」
12月15日(土)14:00～16:00 キャロットタワー5階世田谷文化生活情報センターセミナー室AB(三軒茶屋駅) 講師:中村寿美子(介護コンサルタント) 03-3420-0737

江東ネット

上映会「不思議なクニの憲法2018」&松井久子監督トーク
12月16日(日)13:30～16:00 江東区総合区民センターサブプレホール(西大島駅) 500円 03-3636-9044

西東京ネット

12月16日告示、23日投票の西東京市議会議員選挙に、現職のかとう涼子・後藤ゆう子を擁立予定 042-453-4121

練馬ネット

9条スタンディング
2019年1月9日(水)12:00～13:00 練馬駅前(毎月9日同時間・同場所) 主催:練馬ネット9条の会 03-3993-4899

東村山ネット

平和の集い 豊田直巳スライドトーク「奪われた場所 イラク、フクシマ」
1月27日(日)14:00～17:00 東村山市民ステーションサンパルネコンベンションホール(東村山駅) 500円(子ども・学生無料) 042-392-7677

生活者ネットワークは東京都内33の自治体にあり、都議1人、市・区議46人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組みむと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。
東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



「ジェンダー主流化について」をテーマに基調講演に立つ、中央学院大学現代教養学部准教授の皆川満寿美さん。10月27日

「2019自治体選挙基本政策」を発表。また、「東京に暮らす女性たち実態調査(ジェンダー問題プロジェクト)」および「生活者ネットGEランキング(男女共同(平等)参画に関する自治体調査2018)」を報告。続く第2部では、生活者ネットワークの第一次候補予定者(32名)を発表。それぞれが、政策スローガン「ひとりにしない子育て・介護―支えあい分かちあう地域共生社会へ」を地域から実現にむける決意を述べ、市民政治推進を約す場となりました。

身近な自治体政治を、環境・福祉優先!ジェンダー平等を基盤に「当事者・市民のための政治」に変えるのは、ローカルパワティ「生活者ネットワーク」です。頼りあえる社会・自由と可能性がすべての人に行きわたる地域共生社会を描き実現するために、候補予定者全員の当選をめざします。

本西みつえ・伊藤ひとみ(江戸川)、きたざわ潤子(大田)、吉田ゆみこ・田中さやか(品川)、高岡じゅん子・田中みち子(世田谷)、塚田ひさこ(豊島)、細野かよこ(中野)、きみがま圭子・やない克子・すどうのぶえ(練馬)、渡辺夏子(目黒)、村上洋子(稲城)、岩崎みなこ・岸田めぐみ(多摩)、木下やすこ(調布)、前田よし子・きだあや(八王子)、西のお美・奥村さち子(府中)、林まい子(昭島)、小西みか(清瀬)、こはまおる(国立)、岩永やす代(国分寺)、さとう悦子・山崎とも子(小平)、白石えつ子・桑原りさ(東村山)、じつかわ圭子(東大和)、三原智子(福生)、西園寺みきこ(武蔵野)――以上32名(新人9名、2期目15名、3期目8名)。さらに、第二次候補予定者決定に向けて選考中です。

「2019自治体選挙基本政策」を発表。また、「東京に暮らす女性たち実態調査(ジェンダー問題プロジェクト)」および「生活者ネットGEランキング(男女共同(平等)参画に関する自治体調査2018)」を報告。続く第2部では、生活者ネットワークの第一次候補予定者(32名)を発表。それぞれが、政策スローガン「ひとりにしない子育て・介護―支えあい分かちあう地域共生社会へ」を地域から実現にむける決意を述べ、市民政治推進を約す場となりました。

本西みつえ・伊藤ひとみ(江戸川)、きたざわ潤子(大田)、吉田ゆみこ・田中さやか(品川)、高岡じゅん子・田中みち子(世田谷)、塚田ひさこ(豊島)、細野かよこ(中野)、きみがま圭子・やない克子・すどうのぶえ(練馬)、渡辺夏子(目黒)、村上洋子(稲城)、岩崎みなこ・岸田めぐみ(多摩)、木下やすこ(調布)、前田よし子・きだあや(八王子)、西のお美・奥村さち子(府中)、林まい子(昭島)、小西みか(清瀬)、こはまおる(国立)、岩永やす代(国分寺)、さとう悦子・山崎とも子(小平)、白石えつ子・桑原りさ(東村山)、じつかわ圭子(東大和)、三原智子(福生)、西園寺みきこ(武蔵野)――以上32名(新人9名、2期目15名、3期目8名)。さらに、第二次候補予定者決定に向けて選考中です。



▲上:この日、発表された2019年統一選挙第一次候補予定者が、勢ぞろいし、一言ずつ決意を述べた
▲下左:東京・生活者ネットワーク政策委員長で国分寺市議の岩永やす代が、市民の声を集め、調査と議論を経て作成した「2019年統一地方選挙基本政策」を発表した
▲下右:東京・生活者ネットワーク女性部会の部長で東大和市議のじつかわ圭子が、自治体調査からまとめたGE(ジェンダイコリイティ)ランキングを報告



▲左:2019年統一選挙対決で都議の山内れい子が、全員当選をめざすと力よくアピールした
▲右:今年12月の西東京市議選に臨む現職の後藤ゆう子・かとう涼子を囲んで、東京・生活者ネットワークの現職都・区・市議会議員と候補予定者

ひとりにしない 子育て・介護

支えあい分かちあう
地域共生社会へ

東京・生活者ネットワーク 2019政策発表集会開催 2019統一地方選挙基本政策 第一次候補予定者発表!

Information

わたしたちの声を国連へ～国際基準から見た日本の人権状況

12月15日(土) 13:30～ 青山学院大学 17号館3階311教室(表参道駅) 講師:新倉修(弁護士/青山学院大学名誉教授) 500円 15:30デモ出発 国連・人権勧告の実現を!実行委員会/青山学院大学人権研究会 090-9804-4196(長谷川)

憲法こそたからもの 憲法がかわるとどうなるの?

12月16日(日) 13:30～16:00 きゅりあん8階大ホール(大井町駅) 講演:青井美帆(学習院大学教授)、ライブ:松元ヒロ ゲストスピーカー:諏訪原健 500円 主催:五反田法律事務所/他5団体 03-3447-1361

災害時の子どもにやさしい空間と子どものこころのケア

12月22日(土) 13:30～19:00 東洋大学白山キャンパス浦水会館(白山駅) 1部「子どもにやさしい空間」研修(定員30名)、2部シンポジウム「災害時の子どもの居場所とこころのケア～多職種連携の可能性」(定員80名) 無料 東洋大学人間科学総合研究所/NPO法人災害時こどものこころと居場所サポート saigaikodomokoro@gmail.com

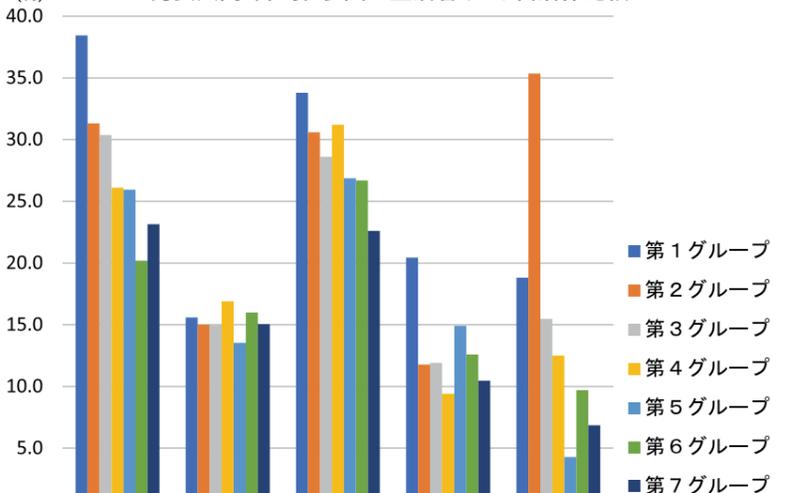
ジェンダー問題プロジェクトでは、3～4月、4回の連続学習会を開催した。写真は、「子育て中の女性と子どもたちを巡る基礎自治体レベルでの課題や先進事例」学習会、4月8日



「子育て女性」「非正規単身女性」「高齢女性」をキーワードに、約100人にインタビューを行った結果、めざすべき社会のあり方が見事に浮かび上がってきました。非正規単身女性のインタビューからは、夫がいる前提で設計されてきた非正規雇用の問題が如実に表れています。現状に大きな不満はなくとも、将来への経済的不安を抱えており、社会制度の発想を世帯単位から個人単位にシフトする必要があります。また、正社員では自分自身の時間がもてないことを示す声もあり、ワーク・ライフ・バランスの問題も見えてきました。ここから、住宅の問題を解決する施策など合わせ13項目を政策提案しています。家事育児を担ってきた人生を肯定しつつも、次世代には、個人の自立や対

等な関係性づくりをアドバイスする声が多くありました。「お墓は自分だけで入りたい」という切実な声も拾いながら、女性の老後を安心できるものにする12項目を提案しました。男女共同(平等)参画に関する自治体調査2018

男女共同(平等)参画 生活者ネット自治体比較



総合第1位:豊島区(82/100点)
第2位:世田谷区(80/100点)
第3位:小金井市、日野市(74/100点)
第5位:目黒区(72/100点)
第6位:武蔵野市、小平市(68/100点)
自治体ランキングトップ7 詳細については、ホームページ参照 <http://www.seikatsusha.me/blog/2018/10/18/10962/>

編集後記/小池知事のもと、東京都子ども虐待防止条例(仮称)制定の動きが佳境をむかえている。これまで看過してきた子どもへの虐待問題に、都行政が一步踏み込む意味では評価できる動きといつてよいが、一方で、規制型の条例をつくること、地域に暮らす子ども家庭を支える子どもへの虐待をなくすことに本当に繋がっていくのだろうか。折しも来る2019年は、国連で「子どもの権利条約」が採択(1989年11月)されてから30周年、日本政府が批准(1994年4月)して25周年の、まさに節目の年となる。国はもとより、地方自治の現場で子どもの権利条約を実施していく地域力・市民力が、いま問われている。ちいさき人・育ちゆく人・子どもの最善の利益が優先される地域社会を創る、そのための必須アイテム=子どもの権利条約=の整備・実施こそを自治体課題の第一に据え、提案活動を進めたい。今年もご購入いただきありがとうございます。みなさま、よきお年をお迎えください。(加藤)

2019 統一地方選政策

縦割り行政を超えて “ジェンダー主流化”で行こう!

東京生活者ネットワーク



小平・生活者ネットワーク市議会議員 日向美砂子

「男は仕事・女は家庭」から「女も男も共に家庭と仕事を支え合う」社会へ

男性の長時間労働見直しと子育ての社会化を

東京の女性たちは生活の中で何を感じながら暮らしているか?東京・生活者ネットワークは、その声を拾い上げ、ジェンダーの視点で課題を抽出し政策をつくらせ、皆川満寿美さん(中央学院大学准教授)をアドバイザーに、プロジェクトを立ち上げ、本年3月から10月まで活動を続けてきました。

すでに20年前には専業主婦世帯と共稼ぎ世帯の数が逆転するなか、子育て女性の話からは、いまだに家事・育児は自分(女性)の役割であると感じているケースが多いことがわかりました。そして、このことが「男は仕事、女は家庭」から「男は仕事、女は家庭と仕事」という新たな性別役割分業を生み出しています。プロジェクトでは、誰もが家事・育児と仕事を両立できる雇用環境と子育ての社会化にむけた政策の必要性を再確認し、25の提案を導き出しました。

「結婚してもしなくても自立できる」「個人単位の賃金・税・社会保障」制度を

育児と仕事を両立できる雇用環境と子育ての社会化にむけた政策の必要性を再確認し、25の提案を導き出しました。

結婚してもしなくても自立できる「個人単位の賃金・税・社会保障」制度を



東大和・生活者ネットワーク市議会議員 じつかわま子

男女共同(平等)参画に関する自治体調査2018 生活者ネットGEランキング発表!

男女共同参画社会基本法(1999年)や女性活躍推進法(2016年)による自治体の取り組みはどの程度進んでいるのか。内閣府は、各自治体の議員・管理職・審議会委員の女性が占める割合などを「市町村女性参画状況見える化マップ」にしています。そのデータを活用し、公立小中学校での混合名簿使用状況や特定事業主行動計画の策定内容など生活者ネットワーク独自の項目を加えて調査し、東京都区市部49自治体間での取り組み状況を比較しました。生活者ネット「男女共同(平等)参画に関する自治体調査2018」です。



「東京に暮らす女性たち—ジェンダー政策」と「男女共同(平等)参画に関する自治体調査2018-GEランキング」を、記者発表する、小平・生活者ネット市議の日向美砂子(左)と東大和・生活者ネット市議のじつかわま子。10月17日、東京都庁で

プロジェットの結果はこれまでも東京・生活者ネットワークがめざしてきた社会の方向性と重なるものであり、女性たちの思いに添えていくためにも、ジェンダーの視点での制度チェックと提案を続

け、政治を動かしていかなければいけないと痛感しています。

「ジェンダー問題プロジェクト」東京に暮らす女性たち「ジェンダー政策報告書(A4判)50頁」を希望の方は、東京生活者ネットワーク政策調査室(03-3200-9189)までご連絡ください。

Ranking about Gender Equality